



Level up your happiness



令和7年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和6年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス
 コード番号 3635 URL <https://www.koeitecmo.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 襟川 陽一
 問合せ先責任者（役職名） 取締役専務執行役員CFO（氏名） 浅野 健二郎（TEL）045-562-8111
 半期報告書提出予定日 令和6年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 令和7年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（令和6年4月1日～令和6年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|------------|--------|-------|--------|-------|--------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 令和7年3月期中間期 | 35,197 | △11.4 | 10,651 | △23.1 | 21,000 | △9.5 | 15,975 | △4.9 |
| 令和6年3月期中間期 | 39,722 | 14.3 | 13,855 | △24.4 | 23,201 | 31.3 | 16,795 | 23.1 |

（注）包括利益 令和7年3月期中間期 13,021百万円（△44.2%） 令和6年3月期中間期 23,317百万円（415.7%）

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 令和7年3月期中間期 | 50.58 | 47.09 |
| 令和6年3月期中間期 | 53.24 | 49.55 |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 令和7年3月期中間期 | 241,584 | 171,611 | 70.7 | 540.81 |
| 令和6年3月期 | 245,802 | 175,552 | 71.1 | 553.59 |

（参考）自己資本 令和7年3月期中間期 170,808百万円 令和6年3月期 174,844百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 令和6年3月期 | - | 0.00 | - | 54.00 | 54.00 |
| 令和7年3月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 令和7年3月期（予想） | - | - | - | 48.00 | 48.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年3月期の連結業績予想（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|--------|-----|--------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 90,000 | 6.4 | 30,000 | 5.3 | 40,000 | △12.6 | 30,000 | △11.2 | 95.04 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 令和7年3月期中間期 | 336,096,924株 | 令和6年3月期 | 336,096,924株 |
| 令和7年3月期中間期 | 20,259,760株 | 令和6年3月期 | 20,258,636株 |
| 令和7年3月期中間期 | 315,837,784株 | 令和6年3月期中間期 | 315,472,029株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、令和6年10月28日(月)にアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 6 |
| 中間連結損益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 6 |
| 中間連結包括利益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 7 |
| (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、中東地域をめぐる情勢、中国における景気の下振れリスク等があるものの、持ち直しが続くことが期待されます。

第3次中期経営計画の最終年度となる当期は、グループ経営方針として「グローバルIPの創造と展開」を掲げ、各種施策に取り組んでいます。

9月に開催された「東京ゲームショウ2024」は総来場者数が27万人を超え、歴代で2番目に多い記録となりました。当社グループからも発売予定タイトルの新情報を発信しました。期間中に発表された「日本ゲーム大賞2024」では、『真・三國無双 ORIGINS』が「フューチャー部門賞」を受賞しました。

当中間期は、パッケージゲームでは『Rise of the Ronin』等のリピーター販売が中心となりました。スマートフォンゲームでは運営中のタイトルが安定して収益に貢献しました。

複数の新作による売上貢献があった前年同期に対し、当中間期は既存タイトルが中心となったことにより、売上高、営業利益は前年を下回りました。金融市場を注視しながら運用を行い、受取利息、有価証券償還益等を計上したことで、営業外収支は前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高351億97百万円(前年同期比11.4%減)、営業利益106億51百万円(同23.1%減)、経常利益210億円(同9.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益159億75百万円(同4.9%減)となり、利益につきましては期初予想を上回りました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

エンタテインメント事業 売上高 327億61百万円 セグメント利益 103億71百万円

「シブサワ・コウ」ブランドでは、『三国志 覇道』が配信4周年を記念したキャンペーンを開催しました。

「ω-Force」ブランドでは、シリーズ最新作のタクティカルアクション『真・三國無双 ORIGINS』が1月に発売予定であることを発表しました。

「Team NINJA」ブランドでは、前期末に発売した『Rise of the Ronin』^(※1)のリピーター販売に注力しました。

「ガスト」ブランドでは、『FAIRY TAIL 2』が12月に、『ユミアのアトリエ ～追憶の錬金術士と幻創の地～』(Nintendo Switch、PS5、PS4、Xbox Series X|S、Xbox One、Windows(Steam)用)が3月に発売予定であることを発表しました。『レスレリアーナのアトリエ ～忘れられた錬金術と極夜の解放者～』では配信1周年を記念したイベントを実施しました。

「midas」ブランドでは、位置情報ゲーム『信長の野望 出陣』において、1周年記念キャンペーンを実施しました。

「ルビーパーティー」ブランドでは、1月にネオロマンス30周年を記念したイベント『ネオロマンス 30th Anniversary ～アンジェリーク&遙かなる時空の中で～』の開催を予定しています。

「AAAスタジオ」では、新規タイトルの開発に注力しています。

IP事業においては、当社がIPを許諾している『三国志・戦略版』(国内では『三國志 真戦』)が引き続き収益に貢献しました。

※1 発売元はソニー・インタラクティブエンタテインメント社

アミューズメント事業 売上高 20億83百万円 セグメント利益 2億52百万円

アミューズメント施設は、売上高が好調に推移しました。新たに1店を出店し、店舗数は12店となりました。

スロット・パチンコでは、当社が開発を担当した1タイトルが稼働を開始しました。

不動産事業 売上高 6億円 セグメント利益 1億45百万円

ライブハウス型ホールKT Zepp Yokohamaは、引き続き高い稼働率となりました。

その他事業 売上高 1億53百万円 セグメント損失 1億18百万円

ベンチャーキャピタル事業において、ファンドの管理費用が発生しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して42億18百万円減少し2,415億84百万円となりました。これは主に、現金及び預金が300億31百万円増加した一方で、有価証券が255億47百万円、売掛金及び契約資産が38億14百万円、投資有価証券が37億87百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して2億77百万円減少し699億73百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した一方で、未払金が36億61百万円、未払法人税等が34億22百万円、その他流動負債が17億7百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して39億40百万円減少し1,716億11百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が26億83百万円、利益剰余金が10億80百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年4月30日に公表した令和7年3月期の通期の業績予想は、第3四半期以降の新作タイトルの販売動向、世界経済や金融環境の動向を踏まえ、当初予想からの変更はございません。今後、業績予想数値に修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (令和6年3月31日) | 当中間連結会計期間 (令和6年9月30日) |
|-------------|------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,702 | 41,733 |
| 売掛金及び契約資産 | 15,041 | 11,227 |
| 有価証券 | 58,393 | 32,846 |
| 商品及び製品 | 50 | 155 |
| 仕掛品 | 104 | 51 |
| 原材料及び貯蔵品 | 100 | 96 |
| その他 | 7,561 | 5,436 |
| 貸倒引当金 | △1 | △2 |
| 流動資産合計 | 92,951 | 91,543 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 19,760 | 19,934 |
| 土地 | 14,624 | 14,619 |
| 建設仮勘定 | 366 | 209 |
| その他(純額) | 1,725 | 1,924 |
| 有形固定資産合計 | 36,477 | 36,688 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 231 | 207 |
| 無形固定資産合計 | 231 | 207 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 106,590 | 102,802 |
| 繰延税金資産 | 933 | 1,606 |
| 退職給付に係る資産 | 4,466 | 4,809 |
| その他 | 4,833 | 4,624 |
| 貸倒引当金 | △681 | △699 |
| 投資その他の資産合計 | 116,141 | 113,144 |
| 固定資産合計 | 152,851 | 150,040 |
| 資産合計 | 245,802 | 241,584 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (令和6年3月31日) | 当中間連結会計期間 (令和6年9月30日) |
|-----------------------|------------------------|--------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,046 | 1,261 |
| 短期借入金 | - | 9,000 |
| 1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債 | 46,536 | 46,134 |
| 未払金 | 7,459 | 3,797 |
| 未払法人税等 | 6,538 | 3,116 |
| 賞与引当金 | 1,730 | 1,662 |
| 役員賞与引当金 | 259 | 157 |
| その他 | 5,358 | 3,651 |
| 流動負債合計 | 68,928 | 68,780 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 391 | 144 |
| その他 | 930 | 1,048 |
| 固定負債合計 | 1,322 | 1,192 |
| 負債合計 | 70,250 | 69,973 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 15,000 | 15,000 |
| 資本剰余金 | 27,428 | 27,428 |
| 利益剰余金 | 163,070 | 161,990 |
| 自己株式 | △37,765 | △37,767 |
| 株主資本合計 | 167,733 | 166,651 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,157 | 1,473 |
| 土地再評価差額金 | △3,115 | △3,114 |
| 為替換算調整勘定 | 4,792 | 4,573 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,275 | 1,224 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,110 | 4,156 |
| 新株予約権 | 707 | 803 |
| 純資産合計 | 175,552 | 171,611 |
| 負債純資産合計 | 245,802 | 241,584 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 39,722 | 35,197 |
| 売上原価 | 14,902 | 14,603 |
| 売上総利益 | 24,820 | 20,593 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,964 | 9,941 |
| 営業利益 | 13,855 | 10,651 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,809 | 9,942 |
| 受取配当金 | 282 | 320 |
| 投資有価証券売却益 | 6,750 | 1,090 |
| 有価証券償還益 | - | 3,275 |
| デリバティブ評価益 | 7,334 | 1,081 |
| 為替差益 | 546 | - |
| その他 | 53 | 129 |
| 営業外収益合計 | 20,777 | 15,840 |
| 営業外費用 | | |
| 投資有価証券評価損 | 436 | 392 |
| 投資有価証券売却損 | 8,625 | 0 |
| 有価証券償還損 | 2,018 | 1,699 |
| デリバティブ評価損 | 40 | 2,151 |
| 為替差損 | - | 1,054 |
| その他 | 311 | 194 |
| 営業外費用合計 | 11,431 | 5,492 |
| 経常利益 | 23,201 | 21,000 |
| 税金等調整前中間純利益 | 23,201 | 21,000 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,591 | 5,118 |
| 法人税等調整額 | △185 | △92 |
| 法人税等合計 | 6,405 | 5,025 |
| 中間純利益 | 16,795 | 15,975 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 16,795 | 15,975 |

(中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日) |
|----------------|--|--|
| 中間純利益 | 16,795 | 15,975 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,236 | △2,683 |
| 土地再評価差額金 | - | 0 |
| 為替換算調整勘定 | 1,277 | △219 |
| 退職給付に係る調整額 | 8 | △51 |
| その他の包括利益合計 | 6,522 | △2,953 |
| 中間包括利益 | 23,317 | 13,021 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 23,317 | 13,021 |

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 |
|-----------------------|-----------|----------|-----|--------|------|--------|
| | エンタテインメント | アミューズメント | 不動産 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 37,151 | 1,952 | 600 | 39,705 | 17 | 39,722 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 58 | 0 | 2 | 60 | 157 | 217 |
| 計 | 37,210 | 1,952 | 603 | 39,766 | 174 | 39,940 |
| セグメント利益又は損失(△) | 13,652 | 353 | 97 | 14,103 | △248 | 13,855 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 14,103 |
| 「その他」の区分の損失(△) | △248 |
| 中間連結損益計算書の営業利益 | 13,855 |

II 当中間連結会計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 |
|-----------------------|-----------|----------|-----|--------|------|--------|
| | エンタテインメント | アミューズメント | 不動産 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 32,508 | 2,083 | 600 | 35,191 | 5 | 35,197 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 253 | 0 | - | 253 | 148 | 402 |
| 計 | 32,761 | 2,083 | 600 | 35,445 | 153 | 35,599 |
| セグメント利益又は損失(△) | 10,371 | 252 | 145 | 10,769 | △118 | 10,651 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 10,769 |
| 「その他」の区分の損失(△) | △118 |
| 中間連結損益計算書の営業利益 | 10,651 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。